

## 地球惑星科学委員会IUGG分科会IACS小委員会（第26期・第2回）

### 議事要旨

1. 日時 令和7年12月22日（月）16:20～17:15
2. 会場 遠隔会議
3. 出席者 中村, 尾関, 榎本, 坂井, 杉浦, 竹内, 藤田, 山口
4. 議題

#### （1）第1回 IACS 小委員会の議事要旨の確認について

尾関委員長より第1回の議事要旨（資料1）について内容確認がなされた。

#### （2）BACO-2025（IAMAS-IACS-IAPSO Joint Assembly）の報告

尾関委員長より, 資料2に基づき7月20日～7月25日韓国・釜山でおこなわれたBACO-2025(IAMAS, IACS, IAPSO の合同大会) の報告がなされた。加えて中村委員からポルトガル・リスボンで行われたIAGAの参加状況の報告があった。

#### （3）IACS Plenary Administrative Meeting の報告

尾関委員長より, 資料3に基づきBACO-2025期間中に開催されたIACS Plenary Administrative Meetingの報告がなされた。IACSの正規の総会はIUGG総会に合わせて4年に1度であることから, 中間年としての活動報告および会計報告であることと, 現在進行中の3つのワーキンググループの紹介があった。IACSの会長交代についての報告もおこなわれた。

#### （4）IACS 小委員会の活動報告

尾関委員長より, この1年間のIACS小委員会の活動報告がなされた。

#### （5）季節積雪の国際分類（IACS）の日本語版PDFについて

尾関委員長より, 資料4をもとに日本雪氷学会が手がけているIACSの季節積雪の国際分類の日本語訳PDF版の説明があった。現在のPDFには修正箇所が残っており, 最終稿が仕上がり次第, 日本雪氷学会で然るべき手続きを踏んで, IACSに連絡を取る予定であることが説明された。前回委員会からの進捗が遅いことから, 第26期中に発刊するように作業を加速する方策を検討すべきであるとの意見があった。また, PDFの日本語訳に関する個別の意見は日本雪氷学会の当該ワーキンググループに後日伝えることとした。

#### （6）IACSの動向

山口委員より, 資料5に基づきIACSに新しく立つ雪崩の国際分類に関するワーキンググループの報告がなされた。日本からは山口委員がワーキンググループに参画する。

#### （7）IUGG分科会の報告

尾関委員長より, 資料6に基づき11月17日におこなわれた第26期第3回の地球惑星科学委員会IUGG分科会の会議報告があった。

(8) 今後の IACS 小委員会の活動

- ・ IACS の若手賞 Early Career Scientists Award への積極的な推薦を呼びかけることが確認された。
- ・ 今後、積極的に IACS の活動を雪氷研究大会（日本雪氷学会と日本雪工学会の合同大会）で広報することとした。ポスター発表も検討する。

(9) その他

雪氷圏科学関連の国際シンポジウムを日本で開催する提案を検討することについて紹介があった。

<配布資料>

資料 1 : IACS 小委員会（第 26 期・第 1 回）の議事要旨

資料 2 : BACO-2025 (IAMAS-IACS-IAPSO Joint Assembly) の報告

資料 3 : IACS Plenary Administrative Meeting の報告

資料 4 : 季節積雪の国際分類（日本語版）

資料 5 : International classification of avalanches: Avalanche Atlas 200+

資料 6 : 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会（第 26 期第 3 回）議事要旨

参考資料 1 : IACS 小委員会（第 26 期）委員名簿